

# 貸し出し絵本 あらすじ集 こりす組

	<p>「フワーー」</p> <p>ぼくのあくび。実はこれ、はじまりはかばさんなのです。どうということかという…?</p>		<p>今日はいい天気。ご機嫌なぞうくんは、さんぽに出かけます。ぞうくんとかばくん、一緒にさんぽに行くのかな？</p> <p>…と思いきや。かばくん、こんな事を言っていますよ。</p>		<p>「わー ゆきだ。すごーい！」</p> <p>赤いチョッキに、白いマフラーをまいたねずみくんは大喜び！</p> <p>「ゆきがっせんをしよう」と、ひとりで雪の玉を投げはじめます。すると・・・</p>		<p>いろいろな生き物が出てきて、大きさやかたち、しっぽ、鳴き声、住んでいる場所、走る速さ、たまごなど、いろいろな視点からみて、生き物それぞれにいろいろな違いがある様子が描かれています。</p>		<p>かわいいねこさんがバッタを追いかけている間に、いろいろな物に遭遇して数えているという内容です</p>
	<p>土の中で、どんどこどんどこ伸びていくのは、にんじん、じゃがいも、さつまいも……そして「どん」と大きなだいこん。縦開きのダイナミックな野菜の絵本です。</p>		<p>「しきぶとんさん、かけぶとんさん、まくらさん。あさまで よろしくおねがいします」夜、眠りにつく前のひととき。男の子は「おしっこがたがりませんように」「おっかないゆめをみませんように」……と、しきぶとん、かけぶとん、まくらたちに、そっとお願いをします。</p>		<p>ただ丸いだけのおまんじゅうなのに、ちょっと紅と白の色がついているだけなのに……どうしてこんなに可愛いのでしょうか！そして題名の通り、おまんじゅうがおしくらまんじゅうをします。</p>		<p>まあい形に目がふたつ。鼻がひとつに、口もひとつ。これだけであった間に……</p> <p>「かあ」の出来上がり！目がつりあがって「おこった顔」、眉毛もさがって「こまった顔」。</p>		<p>あれあれ、白くてまあるいたまごが3つ。「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃんはだあれ？」</p> <p>「でておいでよ。」ページをめくると……</p> <p>びびびび。でてきた、でてきた！小さな可愛いにわとりのあかちゃん。</p>
	<p>夜。空の雲も、池の水も、鳥も、みんな眠ったのに、まだ眠らない女の子が一人。コッコさんです。「おやすみなさいコッコさん」と月が静かに語りかけます。</p>		<p>トマトやジャガイモなど、日常食べている物の、畑の姿を描き、次にそれをとってきて料理した数々を並べます。</p>		<p>こぐまが着がえをしようとしています。でもなんだか変ですよ？</p> <p>シャツを足からはいてしまったり、パンツを頭からかぶってしまったら、ぼうしを足にはいてしまったり。こんなときは、どうすればいいのかな？</p>		<p>「いないいないばあ」「にやあにやがほらほら いないいない……」ページをめくれば、おめめばっちりのにやあにやが「ばあ」。</p> <p>次はくまさんが、ネズミさんが、キツネさんも。</p>		<p>だれでしょう ワンワン ワン</p> <p>おや？ ワンワンワンではわかりません</p> <p>あなたは だあれ？</p>
	<p>むかしむかし だいこんさんが はたけで くうくうって ねてるとね、にんじんさんと ごぼうさんが やってきてねえ だいこんさん おふるへ いこうよ そう いったって。</p>		<p>幼い子が散歩に出かけます。チョウをみつめて、「こりゃまてまて」と追いかけますが、「ひらひら」と逃げられてしまいます。トカゲやハトやネコにも出会います。「こりゃまてまて」と追いかけますが、やはり逃げられてしまいます。</p>		<p>けんちゃんがでんぐりがえりをすると、ねこやうさぎやうさぎが出てきて、いっしょにでんぐりがえりをします！</p>		<p>登場するカメも、自分の手の届かない、高い木の上にあるりんごやみかん、さくらんぼを欲しがり、動物たちに「とってください」とお願いします。</p>		<p>まこちゃんの じどうしゃです はしりますよ ブー</p> <p>ストップ！ のせて のせて ウサギが てを あげて います</p>
	<p>暗い空から、ぼつり。あかいすく。ぼつり。あおいすく。そして、むらさき、ぐんじょう、エメラルドの雨がざあざあざあ。あ。なないろの雨がふりしきり、やがてももいろの光がおりてきて……</p>		<p>おなかが ペこペこの わにわに</p> <p>なにか たべるものはないかと 台所へ</p>		<p>ある日、わにわにが部屋をのぞくと、そこは紙や糊やハサミが散乱した部屋でした。そこで、わにわには工作をはじめました。ダンボールを、切って折って貼って</p>		<p>「でんきをつけてちょうだい」とすると、暗い部屋の中の黒い影が、スイッチを入れます。一瞬のうちに闇が光へと変わる喜びをユーモラスに描いた画期的な赤ちゃん絵本です。</p>		<p>あか、あお、きいろ……。色とりどりのまるが、ページをめくるとに大きくなったり、小さくなったり。画面いっぱい広がる“まるの世界”を存分にお楽しみください。</p>
	<p>お母さんが帰ってしまうので、「あーんあーん」と泣いてしまいます。涙がたまって、子どもたちは魚になってしまい、「あっ」と息をのんでしまいます</p>		<p>時計が9時を指して鳴ります。ボン、ボン。「こんな じかんに おきてるのはだれだ？」ふくろうにみみずく、どらねこ、それともどろぼう？いえ、いえ、夜中に起きているのは……おばけ！</p>		<p>あれあれ、なんだかご機嫌ななめの子がいるよ。「おねこさんが ぷー」怒ってぷー。ふくれてぷー。まんまるお顔はぱんぱんです。</p>		<p>あらあら、ルルちゃん。なんだかとても怒っている顔。何でもすぐに「いやだいやだ」って言うのです。手を広げて、足を広げて、「いやだいやだ」。それなら……</p>		<p>おおきな洋服を、あたまからかぶったあかちゃん。「あれ あれ あれ なんにも みえない おては どこかな」もそもそと手足をうごかします。(まるでオバケ!?)</p>